

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎0968(25)7231

## 泗水中学校

### 新 4月9日 入生が泗水中にやってきました!



④新入生を代表して、古川眞子さんが誓いの言葉を堂々と述べ、新入生への期待が一層高まりました。全18クラス、全校生徒434人と教職員47人で、今年度の泗水中がスタートしました。

厳かな雰囲気の中、入学式を行いました。今年度は156人が入学。新入生たちは緊張した様子でしたが、呼名にしっかりと返事をし、式後の教室ではたくさんの笑顔を見ることができました。これから、生徒と教師の信頼関係を深め、保護者や地域の皆さんと一緒に泗水中を盛り上げていきます。

## 菊池南中学校

### 新 4月10日、13日 入生のみんな、ようこそ南中へ!



④【部活動紹介】 剣道部は木刀で演舞。真剣な中にもユーモアを交えながら会場を沸かせました ⑤【全校集会】 南中の特色の一つでもある委員会の紹介もありました

168人の新入生を迎え、校内は大きな活気に包まれています。全校集会では、学校生活の大切な決まりを確認。本校では、共通理解を大切にしながら、安心・安全で落ち着いた学校づくりを進めています。部活動紹介では、迫力あるプレーに歓声が上がリ、新入生にとって期待が膨らむ時間となりました。

## 旭志小学校

### 3月上旬 地域の皆さんへ花をプレゼント!



④1年生が旭志駐在所へ花をプレゼント ⑤4年生が教育集会所へお礼の気持ちを込めてお花を渡しました

1~5年生の児童が、毎日水やりや手入れをし、心を込めて育てたパンジーやビオラ、ガザニアなどの花を地域の皆さんへ贈りました。受け取った人からは「きれいな花を届けてもらって、とってもうれしい」「また、来年も子どもたちと一緒に活動したいです」といった温かい言葉が聞かれました。

## 花房小学校

### 4月9日 入学おめでとう! 11人の新1年生



花房小の1年生としての第一歩を踏み出しました。今後も温かい支援をよろしくお願いいたします

今年度は11人の児童が入学しました。先生から名前を呼ばれた新入生は、期待に満ちた元気な返事を体育館に響かせました。安全に登下校してほしいという願いが込められた「黄色い帽子」が校長先生から渡され、子どもたちは目を輝かせながら、交通安全への思いを一段と強くしていました。

## 泗水西小学校

### 4月28日 もしものときに備えて、訓練を実施



多くの地域で地震が発生する中、「自分の命は自分で守る」ための実践をこれからも積み重ねていきます

地震避難訓練と保護者への引き渡し訓練を行いました。今年度は、市防災マイスターの秋吉義雄さん(田島一)から、避難や引き渡しの際の助言や指導があり、「もし、登校中に地震が起きたら」という状況を想定し、どのように行動すればよいかをクイズ形式で具体的に教えてもらいました。

市内3高校の魅力伝えます!

# 高校魅力化全力通信

vol.99



【問い合わせ先】  
菊池女子高校  
☎0968(25)3032

【入学式】未来へつながる一歩、ここに始まる



4月8日、106人の新入生が、新たな制服に身を包み、少し緊張しながらも希望に満ちた表情で式に臨みました。

学校長より「本校教育の根底にあるのは、生徒への限りなき愛です」と新入生に言葉が贈られました。生徒一人一人が幸せな学校生活を送り、卒業後も豊かな人生を築いていけるよう、教職員一同が日々考え、支えていく強い思いが語られました。

「本校には多くのチャンスとサポート体制がありますが、それをつかむのは自分自身です」というメッセージとともに、初心を忘れず努力を重ねることの大切さが伝えられました。

本校が目指すのは、困難を乗り越える忍耐力や変化に対応する柔軟性、そして他者を思いやる心を備えた人材の育成です。誰もが自分の居場所を感じられる、温かく包み込むような「まあるい学校」でありたいと願っています。

私たちは、一人一人の可能性を大切に育てていきます。今後も、地域の

## 佐田の海関、来菊! ちゃんこ鍋で地域貢献

2月3日、熊本市出身で境川部屋所属の佐田の海関が来校。この日は、佐田の海関が市のふるさと菊池応援大使に任命される特別な日でもあり、生徒たちは、日本の国技「相撲」について学ぶ貴重な機会となりました。



間近で見ると佐田の海関はとて大きく迫力があり、一つ一つの言葉が丁寧で、強さの中に優しさを感じられました

の皆さんの支援を力に、生徒の成長を支えていきます。

## 国際交流・文化の学び

1月29日、剣道の交流で来日していたロシアの剣士の皆さんと、普通科進学グローバルコースの生徒らが国際交流を行いました。

ロシア語と日本語での意思疎通は難しく、「ロシア語→英語→日本語」の順に生徒が通訳。振り袖着付け披露やけん玉、あやとりなどで交流を深めました。また、ロシアの伝統的なダンスも披露してもらいました。

最後に日本の伝統的な盆踊りの要素を取り入れ、本校が振り付けた白龍音頭と一緒に踊り、和文化的に親しみんでもらいました。生徒の手作りのス



あやとりで和文化交流

交流の一環として、生徒とともにちゃんこ鍋を作りました。望月旅館での煮炊きを経て、ふるさと創生市民広場で約700食分を皆さんに振る舞いました。多くの人に喜んでもらう、地域に貢献する喜びや協働することの大切さを学びました。

本校では、今後も地域と連携した活動を通して、生徒の主体性や社会性を育んでいきます。

## お知らせ

### きもの着付け選手権 熊本大会

家庭科3年生が課題研究の授業で学んだ振り袖着付けの技術を披露します。入場無料です。ぜひ、ご来場ください。

とき 6月7日(日) 午前9時40分~正午  
ところ 泗水ホール

トラップや割り箸入れのプレゼンとも大好評でした。

2月14日は、本校で菊池国際交流協会と共催で「日本の遊び」、3月14日には同協会主催の「国際交流バスハイク」(関連28頁)にボランティアで参加し、市内在住の外国人と交流。バスハイクでは、水源交流館でだご汁を作った他、竜門ダムや雪野八幡宮御遷宮祭神行列を見学しました。

言葉は違っても工夫次第で思いは伝わることを改めて学ぶことができました。生徒たちは、高校生として主体的に行動し、人と人をつなぐ役割を担うことの大切さや、異文化理解の重要性を実感できたようです。



だご汁作りに興味津々